

はじめに

- 本書のパズルは子供から高齢者まで、知らず知らず意識せずに集中して取り組み、没頭して解くことが、多くの被験者実験で確められております。
- 「空間認知力パズル」はデザインやモノづくりの基礎トレーニングになります。また、国立・私立小中学校入試から就職適性検査(S P I)や公務員試験にまでよく出題される「空間把握問題」を解くための空間認知力を飛躍的に向上させます。
- 「空間認知力パズル」は、積み木や立体の見る方向を変えたらどんな形に見えるか選択する形式にしてありますが、この見る方向を変えた形を伏せて、それを方眼紙に描き込むことを、中学生から大学生には特に勧めます。方眼紙に描いてできる形は、本書に描かれた形だけでなく別な形もあります。(方眼紙に描き込む方式は、本書の姉妹編「三次元造形ドリル」参照。)
- 「空間認知力パズル」の各章の積み木や立体の見る方向をうっかりとりちがえることを防ぐために、各章末尾に「記号パズル」を組み入れました。いったん、頭を白紙にして、切り替えて次章に進むことができます。
- 「空間認知力パズル」は答を見てから、立体空間をイメージできて答が納得できたなら、それで十分に空間認知力は高まります。本書のパズルをゆっくりマイペースで解いてみて下さい。